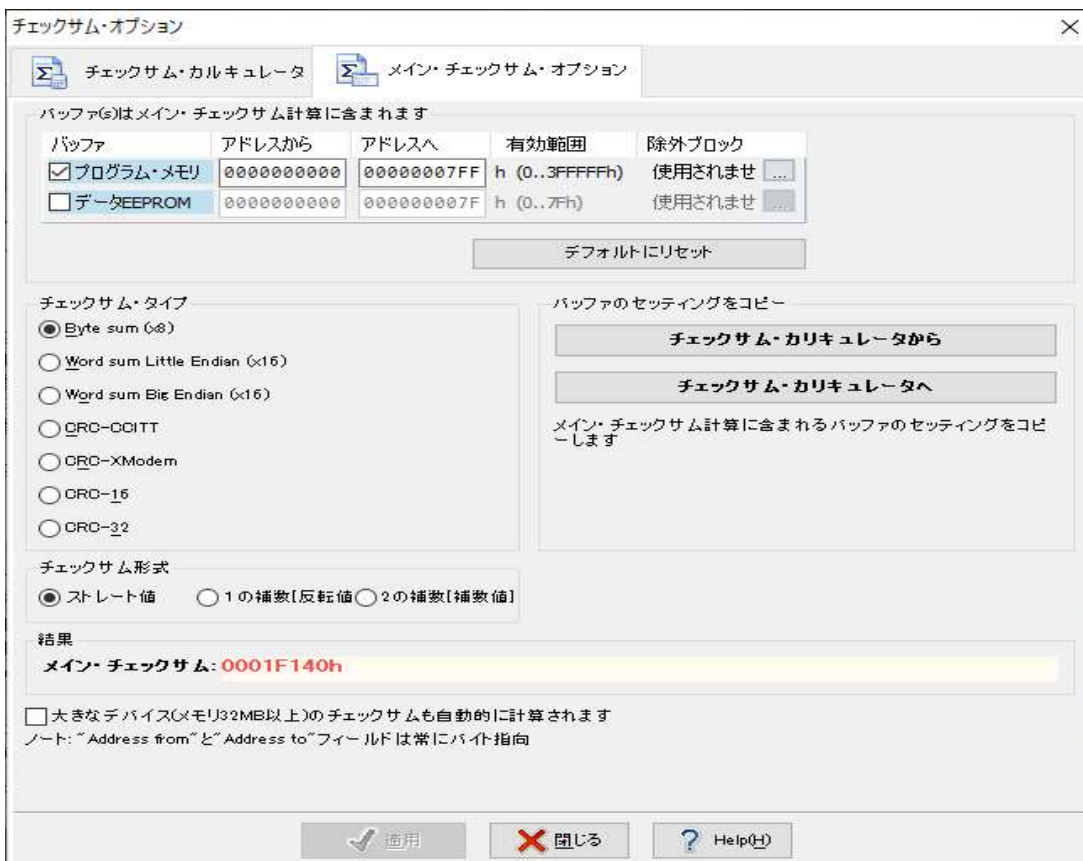


チェックサム関連の情報はPG4UW S/Wの画面の左下に表示されます。

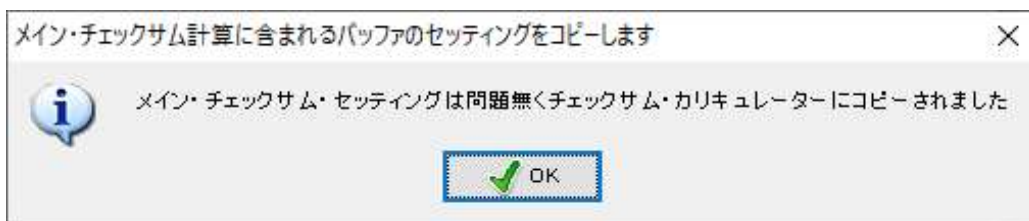
例えば、上で **x8-S** のボックスをクリックしますと以下の様な画面が表示されます。



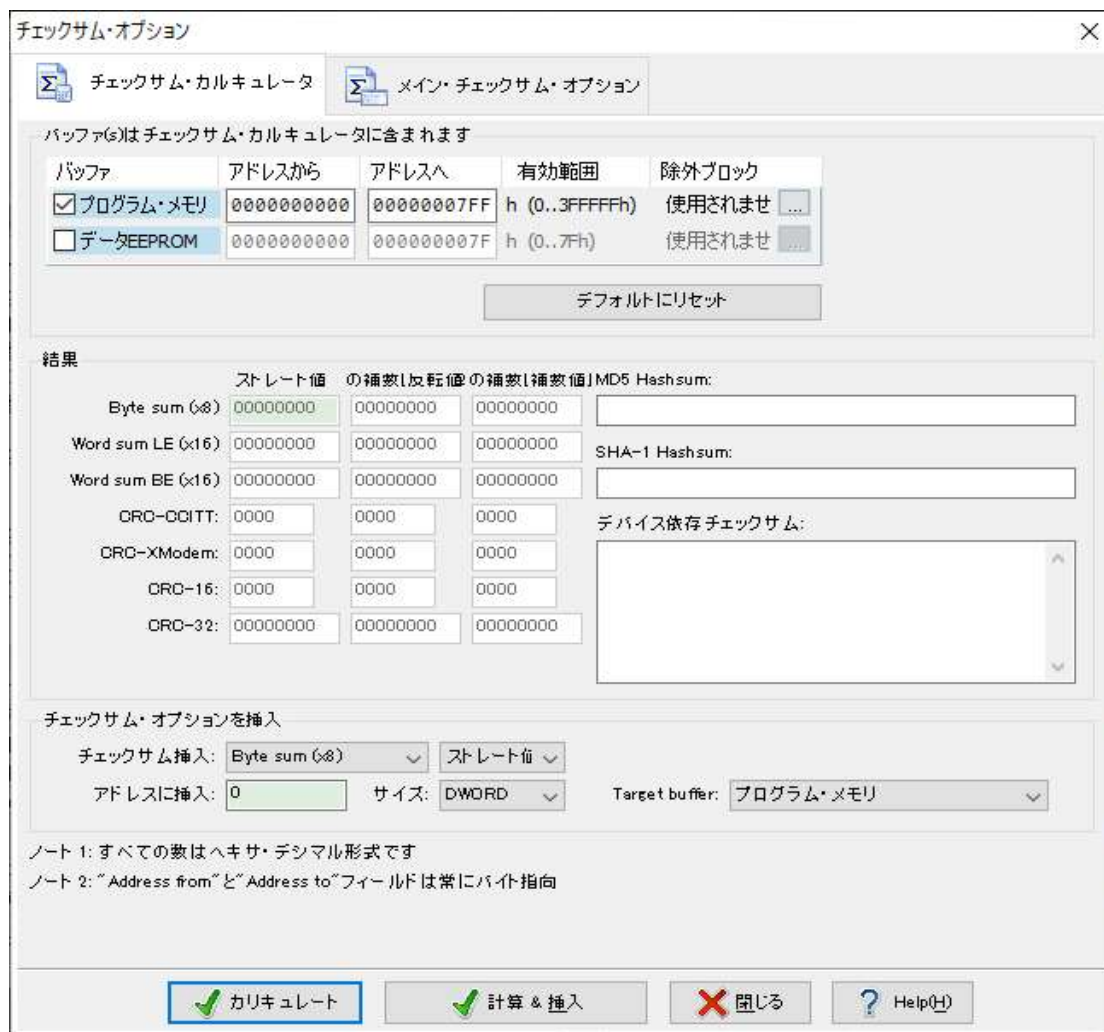
メイン・チェックサム のボックスをクリックををクリックしますと以下の画面が表示されます。



この画面で“チェックサム・カリキュレータ”のボックスをクリックしますと、以下のダイアログが現れメイン・チェックサムの設定が“チェックサム・カリキュレータ”にコピーされます。



OKをクリック後、次にチェックサム・カリキュレータをクリックしますと以下の画面に変わります。



ここで画面下の **カリキュレート** をクリックしますと、全てのチェックサムが表示されます。次ページの画面を参照して下さい。

チェックサム・オプション

チェックサム・カルキュレータ メイン・チェックサム・オプション

バッファ(s)はチェックサム・カルキュレータに含まれます

バッファ	アドレスから	アドレスへ	有効範囲	除外ブロック
<input checked="" type="checkbox"/> プログラム・メモリ	0000000000	00000007FF	h (0..3FFFFFFh)	使用されませ ...
<input type="checkbox"/> データEEPROM	0000000000	000000007F	h (0..7fh)	使用されませ ...

デフォルトにリセット

結果

	スタート値	の補数(反転値)	の補数(補数値)	MD5 Hashsum:
Byte sum (x8)	0001F140	FFFE0EBF	FFFE0EC0	E574AEDA579BFAFC7DE4727FD18F471A
Word sum LE (x16)	004FD310	FFB02CEF	FFB02CF0	SHA-1 Hashsum:
Word sum BE (x16)	01A35E30	FE5CA1CF	FE5CA1D0	75839BF5D054CF25742C46864F9A3D86919052CB
CRC-CCITT:	60F0	9F0F	9F10	デバイス依存チェックサム:
CRC-XModem:	6A14	95EB	95EC	
CRC-16:	DB27	24D8	24D9	
CRC-32:	E5784F21	1A87B0DE	1A87B0DF	

チェックサム・オプションを挿入

チェックサム挿入: Byte sum (x8) スタート値

アドレスに挿入: Word sum LE (x16) DWORD Target buffer: プログラム・メモリ

Word sum BE (x16)
CRC-CCITT
CRC-XModem
CRC-16
CRC-32

ノート 1: すべての数はヘキサ・デシマル形式です
ノート 2: "Address from"と"Address to"フィールドは常にバイト指向

カリキュレート 計算 & 挿入 閉じる Help(H)

チェックサム・オプション

チェックサム・カルキュレータ メイン・チェックサム・オプション

バッファ(s)はチェックサム・カルキュレータに含まれます

バッファ	アドレスから	アドレスへ	有効範囲	除外ブロック
<input checked="" type="checkbox"/> プログラム・メモリ	0000000000	00000007FF	h (0..3FFFFFFh)	使用されませ ...
<input type="checkbox"/> データEEPROM	0000000000	000000007F	h (0..7fh)	使用されませ ...

デフォルトにリセット

結果

	スタート値	の補数(反転値)	の補数(補数値)	MD5 Hashsum:
Byte sum (x8)	0001F140	FFFE0EBF	FFFE0EC0	E574AEDA579BFAFC7DE4727FD18F471A
Word sum LE (x16)	004FD310	FFB02CEF	FFB02CF0	SHA-1 Hashsum:
Word sum BE (x16)	01A35E30	FE5CA1CF	FE5CA1D0	75839BF5D054CF25742C46864F9A3D86919052CB
CRC-CCITT:	60F0	9F0F	9F10	デバイス依存チェックサム:
CRC-XModem:	6A14	95EB	95EC	
CRC-16:	DB27	24D8	24D9	
CRC-32:	E5784F21	1A87B0DE	1A87B0DF	

チェックサム・オプションを挿入

チェックサム挿入: Byte sum (x8) スタート値

アドレスに挿入: 0 サイズ: 1の補数(反転) 2の補数(補数値) Target buffer: プログラム・メモリ

ノート 1: すべての数はヘキサ・デシマル形式です
ノート 2: "Address from"と"Address to"フィールドは常にバイト指向

カリキュレート 計算 & 挿入 閉じる Help(H)